

平成 30 年度岩手県立一関第一高等学校【定時制】経営計画

校長名： 遠 藤 可奈子

1 現 状 把 握 及 び 将 来 展 望	(1) 学校に対するニーズ	対 象			
		生 徒・保護者		地域・進路先等	
	(2) 学校に影響を与える変化	・わかりやすい学習指導による基礎学力の育成 ・一人ひとりに寄り添う生活指導と進路指導 ・充実した学校生活と望ましい人間関係の構築			・地域に活力をもたらす教育実践 ・基本的な生活態度、規範意識やマナーと基礎学力を身につけた自立した社会人の育成
		(3) パートナーとの関係	パートナー		
教育振興会	教育委員会		地域／就労先等		
		・教育活動への支援・協力	・学校経営、教育環境整備・授業力向上等への指導・助言	・地域活動における相互交流 ・就労(アルバイト)先との連携	
2 目指す学校像	校訓・校是 高志 温故知新 切磋琢磨 不屈不撓 修文練武 遂げずばやまじ 1 明るく充実した学校生活の中で、学力と生きる力を育む学校 2 一人ひとりに寄り添う教育活動で、学業と就労を両立させて夢を育てる学校 3 豊かな人間性としっかりした職業観を持つ人材を育み、地域の未来に貢献する学校				
3 育てたい生徒像	1 基本的な生活態度、規範意識とマナー、基礎学力を身につけた生徒 2 豊かな人間性を有し、他者への思いやりと自己肯定感をもつ生徒 3 健全な心身と意欲をもち、不屈の意志で未来を切り拓く生徒				
4 今後の取組方針【H30 重点目標】	1 創立 120 周年を踏まえた教育活動の展開 全 ※1 / 24・25・28 ※2 (1) 創立 120 周年記念事業を機に伝統ある一関一高定時制の生徒としての帰属感と自己肯定感を育む。 【創立 120 周年記念事業、ホームルームや各教科の学習等】 (2) 本校の魅力と特色ある教育活動を地域に広く発信する。 【広報活動の充実・「朋友」の発行】 2 学習指導の充実と学力向上 全・教 / 24 (1) 考える・わかる・力がつく授業で確かな学力を育む。 【互見授業、教員研修】 (2) 基礎・基本を定着させ、学びに向かう意欲と確かな学力を育む。 【授業と連動した家庭学習、個に応じた学習指導】 3 品格と活力ある関高生を育てる生徒指導 全・生 / 25・26・28 (1) 望ましい生活習慣を確立させるとともに、規範意識と思いやり、マナーのある生徒を育てる。 【整容、挨拶、欠席防止、規範意識(いじめ防止)、情報モラル指導、交通安全指導】 (2) 部活動及び学校行事の充実により、目的意識と社会性を育む。 (3) 復興教育や社会活動に取り組み、生命尊重と社会貢献の姿勢を育てる。				
※1 主管分掌を中心に全職員で組織的に取り組む。 全:全体 教:教務課 生:生徒指導課 ※2 いわて県民計画第3期アクションプランとの関連 24:児童生徒の学力向上 (含:キャリア教育) 25:豊かな心を育む教育 26:健やかな体を育む教育 27:特別支援教育の充実 28:家庭・地域との協働による学校経営の推進 (含:目標達成型経営、防災・復興教育)					

<p>4 今後の取組方針 【H30 重点目標】 (続き)</p> <p>※1 主管分掌を中心に全職員で組織的に取り組む。</p> <p>全: 全体 教: 教務課 生: 生徒指導課</p> <p>※2 いわて県民計画第3期7アクションとの関連</p> <p>24: 児童生徒の学力向上 (含: キャリア教育) 25: 豊かな心を育む教育 26: 健やかな体を育む教育 27: 特別支援教育の充実 28: 家庭・地域との協働による学校経営の推進 (含: 目標達成型経営、防災・復興教育)</p>	<p>4 キャリア教育の充実と進路希望の実現 全・教 / 24</p> <p>(1) 就労体験や企業訪問を通して、望ましい勤労観・職業観を身につけさせる。 【地域や企業等との連携】</p> <p>(2) 進路に関わるガイダンス機能を充実させ、進路意識を高揚させる。 【進路講話、個別面談等】</p> <p>(3) 一人ひとりに寄り添ったきめ細かい指導により、進路希望の達成を目指す。 【進路希望や学力差に応じた個別指導の充実】</p> <p>5 健康な心身の育成とサポート体制、環境意識の向上 全・生 / 25 26・27</p> <p>(1) 心身ともに健康な生徒を育てる。 【望ましい生活習慣、健康管理、食育】</p> <p>(2) 生命と人権を尊重し、思いやりと自己肯定感をもつ生徒を育成する。</p> <p>(3) 悩みや不安をもつ生徒を早期に発見し、組織的に支援する。 【学級学年・分掌・部顧問及び保護者等との連携、心のケア】</p> <p>(4) 日常の活動を通じて環境意識を醸成する。 【清掃、エコ活動】</p> <p>6 家庭や地域との連携、防災教育 全・生 / 28</p> <p>(1) 教育振興会と連携・協働して、教育活動の向上を図る。</p> <p>(2) 地域社会と連携し、地域人材と教育力の活用を図る。【諸行事】</p> <p>(3) 生涯にわたる安全・防災意識の基礎を築く教育を行う。【防災教育】</p> <p>7 教職員集団のチーム力向上、信頼される学校づくり 全 / 28</p> <p>(1) 地域や関係団体と連携し、信頼され、社会に開かれた学校づくりを目指す。 【適時適切な情報発信・広報活動、学校評価・学校評議員会の活用】</p> <p>(2) 教職員間のコミュニケーションとチームワークを重視し、コンプライアンス意識を高める。 【情報と意識の共有、風通しのよい職場づくり】</p> <p>(3) 全教職員が目標を共有し、チーム力とチャレンジ精神を持って組織的・計画的に取り組む。【業務改善(優先順位の共有)、働き方改革、チャレンジできる体制づくり】</p>
---	--

平成30年度 数値による評価指標 (定時制)

■学習指導、進路指導等に関するもの

- (1) 授業評価 授業満足度: 80%以上
- (2) 互見授業実施・参観率: 100%

■生徒指導、保健厚生、教育相談等に関するもの

- (3) 教育活動評価アンケート「基本的な生活習慣を確立するための指導を熱心に行っているか」肯定的評価: 85%以上
- (4) " 「生徒の心身の悩みに関する相談について適切に対処しているか」肯定的評価: 80%以上

■家庭や地域との連携に関するもの

- (5) 職場訪問実施率: 100%
- (6) 家庭訪問実施率: 100%